

生命財産を守る

長島町消防団秋季合同訓練



「もしも」の時のために

各分団1組10人による水防↑
工法の実践形式訓練

12月5日、長島町消防団（諏訪義則団長）は、大規模災害の発生に対し、長島町消防団相互の連携体制の確立と指揮系統の確認、資機材取り扱いの習熟および点検を目的として秋季合同訓練と室内研修を開催しました。

まずこの日は、松ヶ平海水浴場で分遣所職員から水防工法についての講義を受けた後、各分団による水防工法の実戦形式訓練が行われました。河川が氾濫する恐れがあることを想定し、各分団1組10人による土のう詰めと、水が浸入しないように迅速に

土のうを積む競争があり、団員たちは真剣に訓練に励んでいました。そのあと鷹巣運動場で、1月9日に開催される出初式のための、規律訓練、部隊訓練、小隊訓練を行いました。

午後からは、長島町開発総合センターで「大災害時の消防団活動（指揮要領・情報の共有）」を演題に、貴重な体験談を踏まえた前指宿地区消防組合消防長の片野田茂樹氏の講演があり、終日有意義な訓練と研修になりました。



①



②



③

- ① 分遣所の職員から、シートを使った水防工法の講義を受ける団員ら
- ② 各分団による100個の土のう詰め競争
- ③ 熱心に聞き入った前指宿地区消防組合消防長の片野田茂樹氏の講演